もっと安心農産物ミニトマト防除暦（令和８年版 土耕栽培用 抑制栽培）

月	旬	作業		薬剤名	ハチ日数	濃度・使用量	出荷前日数	対象病害虫
７月	中旬	播種・育苗 土壌消毒（消毒剤は1剤を選択）		Ｄ－Ｄ・テロン		１５～２０ℓ／１０a	作付け１０～１５日前	ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ・ﾈｸﾞｻﾚｾﾝﾁｭｳ
				ソイリーン・ダブルストッパー		30L/10a(1穴当り3ml)		ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ・ﾈｸﾞｻﾚｾﾝﾁｭｳ・萎凋病
				クロールピクリン・クロピクフロー		1穴当り2～3ml ／ 20～30ℓ/10a		ネキリムシ・センチュウ類
				バスアミド微粒剤		200～300g/立方m	定植21日前	苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌)
		土壌還元消毒		フスマ		1000kg／１０a		ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ・ﾈｸﾞｻﾚｾﾝﾁｭｳ・萎凋病
８月	上旬	ベット作成		ネマキック粒剤	14	１５～２０kg/１０a	定植前	ネコブセンチュウ
				ネマトリンエース粒剤				
	中旬	定植		スタークル粒剤	14	2g/株（植穴処理）	定植時	アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ類
９月	上旬	マルハナバチ導入		マッチ乳剤	0	2000～3000	前日	ハスモンヨトウ・コナジラミ類・トマトサビダニ
	中旬			ダコニール1000	0	1000	前日	葉かび病
				アファーム乳剤	2	2000	前日	ハモグリバエ・オオタバコガ・トマトサビダニ
	下旬			ダントツ水溶剤	15	2000～4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
				スタークル粒剤	14	2g/株（株本処理）	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ類
				グレーシア乳剤	1	2000倍	前日	ｱｻﾞﾐｳﾏ類、ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ、ｺﾅｼﾞﾗﾐ類、ﾄﾏﾄｻﾋﾞﾀﾞﾆ、ﾄﾏﾄﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ、ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
				ベストガード水溶剤	10	1000～2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
				アミスターオプティフロアブル	1	1000	前日	葉かび病・疫病・灰色かび病
１０月	上旬	収穫開始		アフェットフロアブル	1	2000	前日	葉かび病・灰色かび病・菌核病
				☆ エコピタ液剤	0	100～200	前日	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類、ｺﾅｼﾞﾗﾐ類、ハダニ類、うどんこ病
	中旬	ホリバー		モスピラン水溶剤	3	2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
	下旬	ラノテープ		ディアナSC	1～3	2500～5000	前日	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ
				バリアード顆粒水和剤	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
１１月	上旬			☆ エコピタ液剤	0	100～200	前日	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類・ｺﾅｼﾞﾗﾐ類・ハダニ類・うどんこ病
				ランマンフロアブル	0	1000～2000	前日	疫病
	中旬			ノーモルト乳剤	1	2000	前日	コナジラミ類・ハスモンヨトウ
				ファンタジスタ顆粒水和剤	0	2000～3000	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病
				ガードホープ液剤	14	4000	前日	ネコブセンチュウ・トマトサビダニ
	下旬			ロブラール水和剤	0	1000～1500	前日	灰色かび病・輪紋病・斑点病
１２月	上旬			ベトファイター顆粒水和剤	0	2000	前日	疫病
	中旬			バリアード顆粒水和剤	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
				ゲッター水和剤	0	1500	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病
	下旬			コロマイト乳剤	1	1500	前日	コナジラミ類・ハモグリバエ類・トマトサビダニ
１月	上旬			ピクシオDF	0	2000	前日	灰色かび病
	中旬			☆ エコピタ液剤	0	100～200	前日	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類・ｺﾅｼﾞﾗﾐ類・ハダニ類・うどんこ病
	下旬			ゲッター水和剤	0	1500	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病
２月	上旬			モスピラン水溶剤	3	2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
	下旬	ホリバー		フェスティバルC水和剤	0	600～800	前日	疫病
				ピクシオDF	0	2000	前日	灰色かび病
３月	上旬			☆ ハーモメイト水溶剤	0	800～1000	前日	うどんこ病
	中旬			ディアナSC	1～3	2500～5000	前日	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ
				レーバスフロアブル	1	2000	前日	疫病
	下旬			バリアード顆粒水和剤	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
４月	上旬			☆ エコピタ液剤	0	100～200	前日	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類・ｺﾅｼﾞﾗﾐ類・ハダニ類・うどんこ病
	中旬			ノーモルト乳剤	1	2000	前日	コナジラミ類・ハスモンヨトウ
	下旬			ベストガード水溶剤	10	1000～2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類
５月	上旬			☆ エコピタ液剤	0	100～200	前日	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類・ｱﾌﾞﾗﾑｼ類・ハダニ類・うどんこ病
	中旬			スタークル顆粒水溶剤	14	2000～3000	前日	コナジラミ類
	下旬							
６月	上旬							

オンシツコナジラミ・タバココナジラミ　ハモグリバエ・アザミウマ　オオタバコガ・ヨトウムシ　斑点病

斑点病　灰色かび病　疫病　トマト黄化葉巻病

オンシツコナジラミ・タバココナジラミ　斑点病　疫病　トマト黄化葉巻病

※注意：化学成分使用回数が40回を超えないよう十分注意すること。

備考

病害虫の発生状況により下記の薬剤より選択。

コナジラミ類：スタークル顆粒水溶剤（2000～3000倍・前日・2回）、チェス顆粒水和剤（5000倍・前日・3回）、ウララDF（2000倍・前日・3回）、
アドマイヤー顆粒水和剤（5000～10000倍・前日・2回）、アニキ乳剤（1000～2000倍・前日・3回）、コルト顆粒水和剤（4000倍・前日・3回）

ハモグリバエ：プレオフロアブル（1000倍・前日・2回）、トリガード液剤（1000倍・前日・2回）、カスケード乳剤（2000～4000倍・前日・2回）

ヨトウムシ類：フェニックス顆粒水和剤（2000倍・前日・2回）、☆ エスマルクDF（1000倍・前日・制限なし）、☆ デルフィン顆粒水和剤（1000倍・前日・制限なし）

オオタバコガ：プレバソンフロアブル5（2000倍・前日・3回）、フェニックス顆粒水和剤（2000倍～4000倍・前日・2回）

アブラムシ類：粘着くん液剤（100倍・前日・制限なし）

アザミウマ類：マッチ乳剤（2000～3000倍・前日・2回）、コテツフロアブル（2000倍・前日・3回）、アーデント水和剤（1000倍・前日・2回）

ハダニ類：マイトコーネフロアブル（1000倍・前日・1回）、☆ アカリタッチ乳剤（1000～3000倍・前日・制限なし）、サフオイル乳剤（300倍、前日、制限なし）

葉かび病：《トリフミン水和剤（3000倍・前日・5回）、トリフミンジェット（400㎥当たり50g・前日・5回）【パンチョと合わせて5回】》、ベルクート水和剤（6000倍・前日・2回）
ホライズンドライフロアブル（2500倍・前日・3回）、サンヨール（500倍・前日・4回）、☆ カリグリーン（800倍・前日・制限なし）

うどんこ病：パンチョTF顆粒水和剤（2000倍・前日・2回）

灰色かび病：☆ ボトキラー水和剤（ダクト内投入10～15g/10a/日・発病前～発病初期・制限なし）、トップジンM水和剤（1500～2000倍・前日・5回）、
ロブラールくん煙剤（300～400㎥当たり・100g・前日・3回以内）、フルピカフロアブル（2000倍・前日・4回）、ベンレート水和剤（2000倍・前日・3回）

軟腐病：☆ コサイドDF（1000倍・制限なし・制限なし）

疫　病：☆ ノーモルト乳剤（500倍・制限なし・制限なし）、ベンコゼブフロアブル（1000倍・前日・2回）、ランマンフロアブル（1000～2000倍・前日・4回）
プロポーズ顆粒水和剤（1500倍・前日・2回）、レーバスフロアブル（2000倍・前日・3回）

◎　ファンタジスタ顆粒水和剤（灰色かび病・菌核病・葉かび病・2000～3000倍・3回以内・前日まで）予防効果に加えて病斑進展阻止効果を有します。

※黄色粘着板（ホリバー等）　《１０ａ当り２００枚》を必ず使用。

※☆印は天然系農薬で化学合成農薬ではありません。